

市民意見交換会にかかる意見・質問及び回答(令和5年4月末時点)

委員会名:文教常任委員会

番号	委員会等で整理した市民からの意見・質問等	意見・質問等への対応(執行部からの回答内容を含む)
1	<p>不登校児童生徒への対応状況について実態を把握し、市議会としても市の対策に対して取り組んでほしい。</p>	<p>市教育委員会から「各学校において専門スタッフや関係機関と連携・協働し、不登校の未然防止をはじめ、不登校児童生徒の社会的自立を目指し個々の状況に応じたきめ細かな支援を行うために、令和4年3月に『大分市不登校対応マニュアル』を改訂し、本マニュアルを基に計画的に取組を行っている。具体的な取組として、各学校においては、不登校対策委員会を中核として、学級担任等が定期的に家庭訪問や電話連絡を行ったり、スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）等が児童生徒や保護者からの相談に応じたりするなど、組織的、継続的な支援を行っており、教育委員会においては、各学校における長期欠席や不登校の児童生徒の状況を把握するために、『欠席7日目報告シート』と『長欠児童生徒調』の提出を学校に求め、連携した対応を行っている。また、いじめ・不登校未然防止対策事業として、平成30年度より学校生活の満足度等を客観的に判断する『hyper-QU』を小学校4年生から中学校3年生までの全児童生徒を対象に年2回実施しており、児童生徒の心理的な側面から児童生徒理解を深め、いじめや不登校等の未然防止につながる個別指導や集団づくり等に役立っている。さらに、不登校児童生徒支援事業として、令和2年度より『スクールライフサポーター（SLS）』を義務教育学校と中学校に配置し、学校に登校はできるが教室には行けない児童生徒が教室復帰したり、登校に無気力さや不安を抱える児童生徒が安心して登校したりできるよう支援・援助をするとともに、必要に応じて、保護者に対して個人面談を行い、支援方針の共有や家庭での関わり方への助言も行っており、令和4年度は9校に9名を配置している。大分市教育センターに配置している教育支援教室『フレンドリールーム』では、『学校に行きたくても行けない』など、悩みを抱えた児童生徒に対し、個々の状況に応じた支援を行っている。そのほか、県の『不登校児童生徒のためのICTを活用した家庭学習支援事業』や本市の『不登校児童生徒への学習用タブレット端末等貸出事業』等により、不登校児童生徒へのICT機器を活用した教育機会の確保に努めている。今後とも、関係機関と連携し、不登校の未然防止及び不登校児童生徒一人一人の状況に応じ社会的自立を目指したきめ細かな支援を進めていく。」との回答がありました。</p> <p>本委員会としては、不登校児童生徒への対応について注視するとともに、支援の在り方について調査研究を行っていきます。</p>
2	<p>全ての子どもたちが自分のやりたいことができるような義務教育段階における受け皿に対する見解を聞きたい。</p>	<p>市教育委員会に確認し、「各学校では、教師が全ての児童生徒の成長やつまづき、悩みなどの理解に努め、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、個に応じたきめ細かな指導や支援を行っている。今後とも、一人一人を主役に据え、児童生徒が生き生きと学び、感じ合い、活動することができるよう個々の興味・関心・意欲等を踏まえた指導や支援に努めていく。」との回答を受けました。</p>

市民意見交換会にかかる意見・質問及び回答(令和5年4月末時点)

委員会名:文教常任委員会

番号	委員会等で整理した市民からの意見・質問等	意見・質問等への対応(執行部からの回答内容を含む)
3	全国的にいじめの件数が増加傾向にあるが、教育委員会としての対策はどうなっているのか。	<p>市教育委員会から「いじめの積極的な認知や対応の徹底を図るため、『大分市いじめ防止基本方針』及び『大分市いじめ問題対応マニュアル』を令和3年3月に改定し、いじめの早期発見や初期対応等を組織的に行えるよう教職員の研修等で活用している。各学校では、定期的なアンケートや個人面談等により、いじめの早期発見に努めるとともに、いじめの疑いを把握した場合は、『いじめ第一報』により教育委員会へ報告し、家庭と連携しながら、早期解決へ向け、組織的、継続的な対応に努めている。なお、児童生徒や保護者のいじめに関する悩みを広く受け止めることができるよう、学校以外の相談窓口等についてチラシやICT端末等により周知を図っている。また、道徳科の授業をはじめとする様々な教育活動の中で、いじめの問題を自分自身のこととして多面的・多角的に考える学習に取り組んでいる。さらに、市内の全小中学校、義務教育学校の代表児童生徒が参加する『大分市いじめ防止子どもサミット』を通して、いじめの問題を主体的に考え、自校の児童生徒会活動に広げるなど、いじめの未然防止に向けた取組を推進している。」との回答がありました。</p> <p>本委員会としても、いじめ対策の重要性を認識しており、市教育委員会の取組を注視していきます。</p>
4	子供や若者が市議会等政治の仕組みなどに興味・関心を持つよう工夫した取組を行ってはどうか。	<p>市教育委員会に確認し、「各学校では、社会科や特別活動等において政治の仕組みや自治的な活動の在り方等について、計画的・系統的に学習を行っている。また、平成16年度から5年に1回を基本に『大分市子ども市議会』を開催している。参加した児童生徒のアンケートによると、『市政について学ぶことができ、国や県などで行われている政治にも興味が高まった』、『市議会に興味をもつきっかけになり、実際に参加してみて市議会が身近に感じられた』といった、政治への興味・関心、市議会の仕組みや役割の理解などについて述べられており、主権者教育の観点からも大きな成果があると考えている。さらに、答弁集や当日の映像DVDを児童会・生徒会での報告や学校新聞での紹介、社会科等の授業で資料として扱うなど、学習活動に広く活用している。今後とも、開催方法や内容の工夫・改善を行い、児童生徒が将来、地域社会の一員として、主体的に政治に参加しようとする意識を高めることができるよう、主権者教育の充実に努めていく。また、『大分市20歳のつどい』においては、選挙管理委員会と連携し、明るい選挙のイメージキャラクター『選挙のめいすいくん』との記念撮影や選挙の啓発物品の配布など、選挙意識の高揚を図っている。」との回答を受けました。</p>

市民意見交換会にかかる意見・質問及び回答(令和5年4月末時点)

委員会名:文教常任委員会

番号	委員会等で整理した市民からの意見・質問等	意見・質問等への対応(執行部からの回答内容を含む)
5	野津原地区における小中一貫教育に関する状況について聞きたい。	<p>市教育委員会から「野津原中学校区における小学校の統合について、地域住民の代表や保護者、学校関係者等で構成する野津原中学校区適正配置地域協議会から報告書(平成27年11月)の提出を受けており、地域協議会の合意事項として、野津原中部小学校と野津原西部小学校を野津原東部小学校に統合し、連携型小中一貫教育の更なる充実を図ること、また、野津原中学校区の実情に即して、将来的には、施設一体型を含めた小中一貫教育の実施について検討することを要望されている。地域協議会からの要望を踏まえ、野津原中学校区適正配置実施計画(平成28年2月)を定め、今後の児童生徒数の推移や校舎の建替え時期等を考慮し、総合的に検討していくとしたところである。また、小中一貫教育のモデル校として、小中学校の教職員が共通の理念の下で、異学年交流による心育の推進や学習・生活規律に関する系統的な指導を行っている。具体的には、児童生徒については、小中合同のあいさつ運動やボランティア活動、文化発表会での作品交流、中学校体験入学での授業体験や部活動見学等を通して交流を深めており、教職員については、目指す子ども像を共有し、合同授業研究会や合同研修会等を通して連携を深めている。さらに、野津原の歴史と伝統を学ぶフィールドワーク(野津原郁々堂)では地域の方に講師としてご協力いただくなど、地域の教育力を生かした小中合同の教育活動を継続的に行い、中学校区の特色としている。野津原地区は、小学校と中学校の様々な取組により、思いやりの心や地元を愛する心など、豊かな人間性や社会性を育む教育活動が効果的に行われているものと考えている。今後とも、野津原地区の特色を生かした魅力ある教育活動を創造し、小中一貫教育の充実に向けていく。」との回答がありました。</p> <p>本委員会としては、野津原地区における小中一貫教育が充実するよう働きかけていきます。</p>
6	子供会やPTA等の加入者が減少する中、教育委員会として、今後どのような対応を考えているのか。	<p>市教育委員会から「子ども会については、引き続き、子ども会の意義等を伝えるチラシの配布や、各地区公民館で子ども会リーダーや保護者を対象とした研修会を実施する。今後は、子ども会の運営方法等をまとめた『子ども会活動ハンドブック』の『You Tube版』を作成するとともに、子ども会での活動を生涯学習ポータルサイト「まなびのガイド」に掲載するなど、子ども会活動の楽しさや意義を全市に発信していく。また、PTAについては、定期的開催する大分市PTA連合会との協議の場やPTA会長研修会、各種専門部会の会議等で積極的に意見交換を行うなど、PTA活動の活性化に向け、大分市PTA連合会と連携を密にしていく。」との回答がありました。</p> <p>本委員会としても、加入者の減少は課題と考えており、今後の動向を踏まえ、市教育委員会の取組を注視していきます。</p>